

上越市スポーツ推進審議会 委員各位

上越市教育委員会スポーツ推進課長
(上越市スポーツ推進審議会事務局)

令和元年度「第 3 回上越市スポーツ推進審議会」の資料の送付について

日頃から、市のスポーツ推進に格別のご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、開催を中止といたしました標記会議の資料を送付いたします。

つきましては、資料について、ご意見等がございましたら、下記のとおりご回答くださいますようお願い申し上げます。

記

1 送付書類

(1) 議題

- ・令和元年度スポーツ推進事業の実施状況について（見込み） …資料 1

(2) 報告事項

- ・上越市第 2 次総合教育プラン後期実施計画（令和 2 年度～令和 4 年度） …資料 2
- ・令和 2 年度予算（案）の概要について …資料 3
- ・上越市立上越体操場「ジムリーナ」のオープンについて …資料 4
- ・東京オリンピック・パラリンピックホストタウン推進事業について …資料 5

(3) その他

- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に向けた市の対応状況について …資料 6

2 回答方法

- ・回答用紙にご意見の有無（有の場合は、その内容）を記入のうえ、郵送、メール又は F A X でご返送ください。

※ 回答用紙がデータで必要な場合は、担当までご連絡ください。

3 回答期限

令和 2 年 3 月 30 日（月）

【お問い合わせ先】

上越市教育委員会スポーツ推進課 担当：雲田、田村
〒942-8563 上越市下門前 1770 上越市教育プラザ内
電話：025-545-9246 FAX：025-545-9273
E-mail：sports-k@city.joetsu.lg.jp

上越市スポーツ推進審議会 事務局

上越市教育委員会 スポーツ推進課 行

回 答 用 紙

氏 名 : _____

(記入欄) □にレ点を記入してください。

意見あり (意見ありの場合は、下表にご記入ください。)

意見なし (意見なしの場合も、その旨をご回答ください。)

「令和元年度スポーツ推進事業の実施状況について (見込み)」に対するご意見等

--

その他ご意見等

--

基本施策 7 地域が主体のスポーツ・レクリエーション活動の推進

施策 1 生涯スポーツ活動の充実

□ 目標

スポーツ活動に対する市民への意識啓発に取り組むとともに、市スポーツ協会、総合型地域スポーツクラブ等を中心として地域ぐるみのスポーツ活動の推進を図ります。

□ 成果指標と達成状況

評価内容	令和元年度	達成状況（2月末）
スポーツイベントの参加率 ※参加率＝市、市スポーツ協会、総合型地域スポーツクラブ等が主催する大会・教室等の延べ参加者数/人口 <現状値：H27> 89.9%	90%以上にする。	106.3%
市内の総合型地域スポーツクラブ、市スポーツ協会に所属する会員数 <現状値：H27> 25,428人	26,300人以上にする。	27,315人

目標を達成するための事業等（※実績は2月末時点）

(1) スポーツ活動の普及推進

① スポーツ推進委員の活動促進

- ・ 小学校の課外活動等でのニュースポーツ…84回、延べ4,923人参加
- ・ 地域での健康体操や市民エクササイズ…27回、延べ941人参加
- ・ 市民向けの体力測定会の運営補助（反復横跳び、上体おこし等）…6会場、延べ166人参加

② 子どもの健康・体力づくり運動の開催

- ・ 上越教育大学から専門指導者を招聘し、子供の健康・体力づくり運動に携わる指導者を養成するための講習会と、親子を対象とした運動教室を開催…2回、指導者37人、親子66組133人参加
- ・ 生涯スポーツ指導員が保育園や小学校に出向き、体力づくり運動を指導…34回、1,591人参加
- ・ より多くの市民に幼少期からの健康と体力づくりに取り組んでもらえるよう、これまでの指導者養成講習会や親子運動教室の内容や研究・成果をまとめた「運動あそびプログラム」を2月に策定 …2月28日に指導者講習会を予定したが、新型コロナウイルスの影響により延期（次回開催日は未定）

③ スポーツ少年団等の活動支援

- ・ 市スポーツ少年団による青少年の育成活動を支援（自主事業、交流会、地区大会、県大会の主管事業に係る経費を補助）…交付率 100%
- ・ 競技の特殊性から民間施設を借り上げて活動しているアクティブスポーツ団体を支援…交付率 100%

④ 障害者スポーツ・生涯スポーツ体験イベントの開催

- ・ 障がい者スポーツや生涯スポーツの理解促進に向け、上越市スポーツ推進委員会、上越市レクリエーション協会、上越市身体障害者連絡協議会の3団体が連携し、ニュースポーツ体験交流会を開催（11月9日開催、参加者数33人）

(2) 市スポーツ協会、各種スポーツ団体への支援

① スポーツ大会・教室等の開催及び支援

- ・ 高田城ロードレース大会（6月2日開催、参加者数2,507人）…交付率 100%
- ・ ビーチバレーボール大会（7月21日開催、参加者数206人）…交付率 100%
- ・ ビーチラグビー大会（8月24日、25日開催、参加者数200人）…交付率 100%
- ・ 新潟県駅伝競走大会（10月20日開催）…交付率 100%
- ・ 上越市民体育祭（9月から12月中旬まで競技ごとに随時開催）…交付率 100%
- ・ 居多まつり武道大会（8月20日開催、参加者数200人）…交付率 100%
- ・ 市スポーツ協会加盟団体による各種教室の開催を支援…交付率 100%

② えちご・くびき野100kmマラソンの開催準備

- ・ 令和2年10月開催に向けた準備(全国から2,500人を超えるランナーが参加するマラソン大会であり、市街地から中山間地域までの市域全体を100km・60kmのコース設定で、2年に1度開催)…交付率 100%

③ 上越市スポーツ協会への支援

- ・ 市のスポーツ振興の中核組織として安定した活動を持続可能にするための運営費を補助…交付率 100%

(3) 総合型地域スポーツクラブの育成及び支援

① 研修会の開催

- ・ 「総合型地域スポーツクラブ研修会」…上越教育大学から講師を招聘し、発達障害等の個性を理解し、個性に合わせたスポーツとの関わり方や指導方法に関する講義を実施（9月8日開催（午前の部）、参加者数28人）
- ・ 「総合型地域スポーツクラブ上越地区研修会」…一般財団法人日本ボッチャ協会普及指導員を講師に招聘し、ボッチャサポーター養成講習会を上越SCネット（頸城・大潟・柿崎・三和のスポーツクラブから成る連絡協議会）と協働して開催（9月8日開催（午後の部）、参加者数32人）

② 活動実態の把握

- ・ 各地域のスポーツ活動の現状を把握し、実情に即した支援の在り方を検討するため、令和元年8月2日（火）から8月9日（金）にまで12地区を実施
（主な意見）
 - ▶ 地域の団体と連携がうまくいかず、互いに活動内容が重複している
 - ▶ 人材不足や財源不足、世代交代等が進まずクラブ自体が弱体化してきている

③ 総合型地域スポーツクラブ未設置区域の支援

- ・ 地域で望まれるスポーツイベントやニーズの聞き取りを実施（8月2日：清里区、8月5日：吉川区、8月7日：大島区、8月8日：牧区）
（主な意見）
 - ▶ 個人でウォーキングしている高齢者が多く、公民館事業等の健康体操には需要がある。
 - ▶ 少子高齢化が著しいことから、若年層のスポーツ推進については、周辺地域と一緒に考えるべきだと思う。

基本施策7 地域が主体のスポーツ・レクリエーション活動の推進

施策2 競技スポーツの発展

□ 目標

各種スポーツの競技人口を踏まえつつ、関連競技団体と連携を図りながらアスリート育成強化等に取り組み、スポーツ競技力の向上を図るとともに、2020年東京オリンピック・パラリンピック（以下「東京オリンピック」という。）の開催の機会を捉え、関連施策と連携を図りながら、市民によるスポーツ活動の推進と競技力の向上を図ります。

□ 成果指標と達成状況

評価内容	令和元年度	達成状況（2月末）
中高生の北信越大会の出場者数及び出場率 〈現状値：H27〉 162人 1.42%	出場者数 155人 出場率 1.4%以上にする。	出場者数 294人 出場率 2.8%
小・中高生の全国大会出場者数及び出場率 〈現状値：H27〉 129人 0.59%	出場者数 120人 出場率 0.55%以上にする。	出場者数 176人 出場率 0.88%
ジュニアトップアスリート育成強化事業指定競技種目における全国大会出場者数 〈現状値：H27〉 97人	103人以上にする。	延べ出場者数 140人

目標を達成するための事業等（※実績は2月末時点）

(1) スポーツ競技力の向上及びアスリート育成強化事業の推進

① ジュニアトップアスリート育成強化補助金

- 市スポーツ協会のジュニアトップアスリート育成強化指定競技（体操、バレーボール、野球、陸上、山岳、スキー）において、全国・世界で活躍できるトップアスリートを育成するために、市スポーツ協会及び学校関係者等と連携をしながら、年齢や学校の枠を超えた一貫指導体制を整備することを通して、ジュニア選手の育成強化を行うための活動に要する経費の一部に対して補助金を交付する。（育成強化委員会の開催、指導者等の配置、練習会・競技会への参加）
… 交付率 100%

② 地域ジュニアスポーツクラブ育成事業補助金（県）

- 県の指定競技（空手道）において、全国・世界で活躍できるトップアスリートを育成するために、市スポーツ協会及び学校関係者等と連携をしながら、年齢や学校の枠を超えた一貫指導体制を整備することを通して、ジュニア選手の育成強化を行うための活動に要する経費の一部に対して補助金を交付する。（育成強化委員会の開催、指導者等の配置、練習会・競技会の参加）
… 交付率 100%

③ スポーツアスリート育成強化事業補助金

- 上越市を拠点に活躍できるアスリートを育成・支援するための活動に要する経費の一部に対して補助金を交付する。（指導者の招請、強化試合、全国大会への参加）
… 交付率 100%

④ ジュニアスポーツクラブ補助金

- ジュニア層のスポーツ教室や選手強化等を図るための活動に要する経費の一部に対して補助金を交付する。（各種強化活動、教室、大会への参加）
… 交付率 100%

⑤ スポーツ活動サポート事業

- 小学校：陸上競技、水泳、ミニバスケットボール、ダンス、カヌーなどの課外活動に外部指導者を派遣 …延べ 236回
- 中学校：バレーボール、サッカー、野球、陸上競技、剣道などの部活動に外部指導者を派遣…延べ 1,119回

⑥ スポーツ振興奨励金

- 国際大会や全国大会などに出場する優秀な選手等に対して、奨励金を交付し、選手等を奨励するとともに、地元選手の活躍により、市民のスポーツに対する意識の高揚を促進し、スポーツ活動の振興を図る。
…交付件数 189件

⑦ 国民体育大会及び全国障害者スポーツ大会の上越市出場選手壮行会の開催

- 国民体育大会及び全国障害者スポーツ大会に出場する選手を激励するとともに、市民のスポーツ活動に対する機運の醸成を図る。
…9月26日開催（出場選手総勢 15人）

(2) 指導者養成の推進

① 上越市スポーツ指導者養成事業補助金

- 指導者を対象とした講習会を実施し、資質及び技術向上を図るとともに、模範となる優秀選手や指導者を顕彰し、スポーツに対する市民意識の高揚を促進するための活動に要する経費の一部に対して補助金を交付する。（各種会議・講習会の開催等）
…交付率 100%

② 日本体育大学連携事業

- 平成27年度に市と日本体育大学が締結した「体育・スポーツ振興に関する協定」に基づき、日本体育大学から指導者を招き、バレーボールと陸上競技の2種目の練習会及び指導者クリニックを開催した。
…バレーボール：7月7日開催、参加者数は中学生72人、高校生78人及び指導者30人
陸上競技：7月28日開催、参加者数は中学生132人及び指導者19人

施策3 **スポーツ環境の整備**

□ **目標**

スポーツ関連施設の老朽化に適切に対応するとともに、ライフステージに応じた市民ニーズを踏まえ、安全かつ快適なスポーツ環境を提供します。

□ **成果指標と達成状況**

評価内容	令和元年度	達成状況 (令和2年2月末現在)
体育施設(体育館)の1施設当たりの年間延べ利用者数 <現状値：H23～27平均> 22,951人/施設	H23～27平均実績の利用者数を上回る。	20,732人/施設
体育施設(野球場)の1施設当たりの年間延べ利用者数 <現状値：H23～27平均> 7,826人/施設	H23～27平均実績の利用者数を上回る。	5,940人/施設
体育施設(多目的広場)の1施設当たりの年間延べ利用者数 <現状値：H23～27平均> 5,958人/施設	H23～27平均実績の利用者数を上回る。	4,720人/施設
体育施設(テニスコート)の1施設当たりの年間延べ利用者数 <現状値：H23～27平均> 6,370人/施設	H23～27平均実績の利用者数を上回る。	5,409人/施設

目標を達成するための事業等

(1) **体育施設の安全性や快適性の確保**

施設名	実施内容	実績(見込み)
上越勤労身体障害者体育館	多目的トイレ改修工事	令和元年12月4日(完了)
上越総合運動公園テニスコート	テニスコート人工芝張替工事	令和元年12月10日(完了)
高田公園野球場	グラウンド内野整備工事	令和元年9月7日(完了)
清里スポーツ公園グラウンド	防球ネット設置工事	令和元年9月6日(完了)
三和体育館	駐車場舗装修繕工事	令和元年11月19日(完了)
上越体操場「ジムリーナ」	新築工事	令和元年11月30日(完了)
大潟運動場	トイレ解体撤去工事	令和元年7月8日(完了)
清里スポーツセンター	駐車場舗装修繕工事	令和元年9月18日(完了)
高田公園第3庭球場	照明設備修繕工事	令和元年9月13日(完了)
浦川原体育館	駐車場安全策設置工事	令和元年9月3日(完了)
陸上競技場	西側スタンド土止め工事	令和元年11月22日(完了)
高田スポーツセンター	競技場照明修繕工事	令和元年10月21日(完了)
柿崎総合体育館	吸収式冷温水器水漏れ修繕工事	令和元年7月11日(完了)
オールシーズンプール	非常照明器具取替修繕工事	令和元年7月24日(完了)

(2) **体育施設の指定管理の状況**

施設名	管理者	期間	自主事業
上越市総合体育館、上越勤労身体障害者体育館、スポーツ公園(野球場、多目的運動広場、庭球場)、上越市藤野野球場、上越市びょうぶ谷野球場、上越市庭球コート、上越市少年野球場、上越市春日山ペタンク場、上越市高田スポーツセンター、高田公園(弓道場、陸上競技場、野球場、庭球場)、上越市今泉スポーツ広場(野球場、多目的広場)、上越総合運動公園(テニスコート)、上越市教育プラザ体育館	一般財団法人 上越市スポーツ協会	5年間 (平成31年4月1日から令和6年3月31日まで)	健康体操教室、ヨガ教室、ランニング教室、各種スポーツ大会の開催
上越市柿崎総合体育館、柿崎総合運動公園(野球場、グラウンド、人工芝グラウンド)、上越市柿崎屋内水泳プール	新東産業株式会社	5年間 (平成31年4月1日から令和6年3月31日まで)	さわやかフィットネス教室、いきいき健康体操&ストレッチ教室、男性のための体操教室、トランポピクス教室、初心者ジョギング講座、ドーム杯スポレック大会、ドーム杯硬式テニス大会、幼児・児童水泳教室
オールシーズンプール	株式会社 新潟ビルサービス	5年間 (平成31年4月1日から令和6年3月31日まで)	水泳教室(短期含む)、上越ASP水泳競技大会、親子水遊び体験教室、わんぱく水遊び天国、新春初泳ぎレクリエーション、一日体験教室、スイムスキルアップ教室

※その他市直営施設：41施設

(3) **体育施設・設備の廃止**

施設名	施設区分	実施日
安塚和田スポーツ公園グラウンド	照明設備	令和2年3月31日 廃止
大島中学校屋外運動場照明設備		
板倉運動広場		
三和中学校屋外運動場		
中郷総合運動公園庭球コート	テニスコート	

成果指標の達成状況について

施策1 生涯スポーツ活動の充実

評価内容	令和元年度（目標）	令和元年度 2月末 （達成状況）
スポーツイベントの参加率 ※参加率＝市、市スポーツ協会、総合型地域スポーツクラブ等が主催する大会・教室等の延べ参加者数/人口 <現状値：H27> 89.9%	90%以上にする。	106.3%
市内の総合型地域スポーツクラブ、市スポーツ協会に所属する会員数 <現状値：H27> 25,428人	26,300人以上にする。	27,315人

（達成状況に対する分析）

○ スポーツイベントの参加率

令和元年度の目標値90%に対し、2月末時点で106.3%と16.3%上回っています。

主な要因としては、上越市スポーツ協会やその加盟団体、総合型地域スポーツクラブが開催している市民体育祭（上越市スポーツ協会）やジュニア陸上教室（上越市陸上競技協会）、第7回うらスポマラソン大会（NPO法人うらがわらスポーツクラブ）といったスポーツイベントが、引き続き実施されており、概ね前年並みで推移しております。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、3月に予定されていた各種スポーツイベントが、中止又は延期となっていることから、2月末時点の達成状況が、概ね令和元年度の実績となる見込みです。（中止となった主なスポーツイベント：ジムリーナトライアルイベント（上越市）、レルヒカップスキー&スノーボード大会（レルヒカップ大会実行委員会）、大潟卓球大会（NPO法人おおがたスポーツクラブ）等）

○ 市内の総合型地域スポーツクラブ、市スポーツ協会に所属する会員数

令和元年度の目標値26,300人に対し、2月末時点で27,315人と1,015人上回っています。

主な要因としては、中郷区において、本年4月に区民全員を会員とする、総合型地域スポーツクラブ「さとまるスポーツクラブ」が新たに設立され、会員数3,638人が加わり、増加したものです。

（さとまるスポーツクラブの概要）

スポーツに特化しないまちづくり振興会が母体となって、中郷区に在住するすべての区民を会員とし、スポーツ活動を奨励や区民の健康保持増進をはかるとともに、地域に根ざしたスポーツ環境づくり及び人づくり、まちづくりに寄与することを目的とした、自主財源による安定した運営を行うクラブです。

成果指標の達成状況について

施策2 競技スポーツの発展

評価内容	令和元年度 (目標)	令和元年度 2月末 (達成状況)
中高生の北信越大会の出場者数及び出場率 〈現状値：H27〉 162人 1.42%	出場者数 155人 出場率 1.4%以上にする。	出場者数 294人 出場率 2.8%
小・中高生の全国大会出場者数及び出場率 〈現状値：H27〉 129人 0.59%	出場者数 120人 出場率 0.55%以上にする。	出場者数 176人 出場率 0.88%
ジュニアトップアスリート育成強化事業指定競技種目における全国大会出場者数 〈現状値：H27〉 97人	103人以上にする。	延べ出場者数 140人

(達成状況に対する分析)

○ 中高生の北信越大会の出場者数及び出場率

令和元年度の出場者数の目標値 155 人に対し、2 月末時点で 294 人と 139 人上回り、出場率も目標値 1.4%以上に対し、2.8%と 1.4%上回っています。

主な要因としては、小学生から高校生までを対象としたジュニアトップアスリート育成強化事業の指定競技 6 種目（体操、バレーボール、野球、陸上、山岳、スキー）のうち、体操、バレーボールで出場者が大幅に増加したことに加え、それ以外の水泳、テニス、ソフトボール、卓球、柔道などで増加したものです。

○ 小・中高生の全国大会出場者数及び出場率

令和元年度の出場者数の目標値 120 人に対し、2 月末時点で 176 人と 56 人上回り、出場率も目標値 0.55%以上に対し、0.88%と 0.33%上回っています。

主な要因としては、地域ジュニア競技スポーツクラブ育成事業の対象競技である空手道や、ジュニアトップアスリート育成強化事業の指定競技 6 種目のうち、バレーボールやスキーで増加したものです。

○ ジュニアトップアスリート育成強化事業指定競技種目における全国大会出場者数

令和元年度の出場者数の目標値 103 人以上に対し、2 月末時点で 140 人と 37 人上回っています。

主な要因としては、特に地域ジュニア競技スポーツクラブ育成事業対象競技である空手道の種目で出場者が増加したものです。

成果指標の達成状況について

施策3 スポーツ環境の整備

評価内容	令和元年度	達成状況 (令和2年2月末現在)
体育施設(体育館)の1施設当たりの年間延べ利用者数 <現状値：H23～27平均> 22,951人/施設	H23～27平均実績の利用者数を上回る。	20,732人/施設
体育施設(野球場)の1施設当たりの年間延べ利用者数 <現状値：H23～27平均> 7,826人/施設	H23～27平均実績の利用者数を上回る。	5,940人/施設
体育施設(多目的広場)の1施設当たりの年間延べ利用者数 <現状値：H23～27平均> 5,958人/施設	H23～27平均実績の利用者数を上回る。	4,720人/施設
体育施設(テニスコート)の1施設当たりの年間延べ利用者数 <現状値：H23～27平均> 6,370人/施設	H23～27平均実績の利用者数を上回る。	5,409人/施設

(達成状況に対する分析)

○ 体育館の1施設当たりの年間延べ利用者数

目標は、H23～27平均実績利用者数を上回るとしてありますが、2月末時点では、2,219人下回り△9.7%となっています。例年3月中旬以降の利用者が一定程度あることを踏まえ、これまでの利用者数はおおむね目標に近い状態で推移しています。

○ 野球場・多目的広場の1施設当たりの年間延べ利用者数

目標は、H23～27平均実績利用者数を上回るとしてありますが、2月末時点では、野球場が1,886人下回り△24.1%、多目的広場が1,238人下回り△20.8%となっています。施設利用予約は例年並みであったものの、天候不順による利用不可日もあったことから目標達成に至りませんでした。

○ テニスコートの1施設当たりの年間延べ利用者数

目標は、H23～27平均実績利用者数を上回るとしてありますが、2月末時点では、961人下回り△15.1%となっています。上越総合運動公園テニスコートにおいて、10月、11月に人工芝の張替工事を実施したことから、その間の利用制限の影響により目標達成に至りませんでした。

上越市第 2 次総合教育プラン後期実施計画の策定経過について

上越市第 2 次総合教育プランにおける実施計画は、同プランを計画的・総合的に実施するために策定するものです。

教育委員会では、「上越市総合教育プラン」に基づく令和 2 年度から 4 年度までの「後期実施計画」に向け、下表のとおり進めてまいりました。

当審議会委員の皆様からも、ご意見をいただいたところではありますが、このたび、令和 2 年度から令和 4 年度を計画期間とする後期実施計画を策定しましたので、報告いたします。

内容につきましては、別冊をご覧ください。

○策定の過程

時期	教育委員会	当審議会
令和元年 6 月 27 日	・ 第 1 回上越市スポーツ推進審議会において、計画（案）に対する意見聴取を書面にて行うことについて事務局から説明	
令和元年 7 月上旬	・ 計画（案）に対する書面での意見聴取を実施	
令和元年 7 月中旬	・ 意見聴取結果を基に、計画（案）を修正	
令和元年 10 月 17 日	・ 第 2 回上越市スポーツ推進審議会において策定状況を報告	
令和元年 12 月 20 日	・ 教育委員会協議会にて協議	
令和 2 年 1 月 17 日	・ 有識者からの意見聴取	
令和 2 年 1 月 28 日	・ 教育委員会協議会にて協議	
令和 2 年 2 月上旬	・ 協議結果を基に計画（案）を修正	
令和 2 年 2 月 17 日	・ 教育委員会定例会に議案提出、承認	
令和 2 年 3 月 4 日	・ 市議会（3 月定例会）厚生常任委員会へ報告、公表	
令和 2 年 3 月末	・ 審議会委員へ計画（公表版）を送付	

令和 2 年度予算（案）の概要について

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
保健体育総務費	22,802	27,954	△5,152

主な財源		主な経費			
財産収入	16	報酬	9,561	需用費	244
一般財源	22,786	共済費	815	役務費	669
		旅費	694	委託料	10,145

○スポーツ推進審議会 201

【目的】

市民の幅広いスポーツ・レクリエーション活動を推進するため、市のスポーツ推進施策に関する調査・審議を行う。

【2年度目標】

上越市第2次総合教育プランに基づく取組の適切な進捗管理及びスポーツの推進に関する意見を把握する。

【実施内容】

- ・スポーツ推進審議会（委員 15 人）を開催する。（年 3 回）
- ・上越市第 2 次総合教育プランに基づく取組に関する審議を行う。

○スポーツ推進委員 4,749

【目的】

市民のスポーツや健康に対する意識の高揚を図り、地域の生涯スポーツ活動を推進する。

【2年度目標】

市民への実技指導や行事等に参画し、地域スポーツの推進役として活動する。

【実施内容】

- ・スポーツ推進委員会議（委員 66 人）を開催する。（年 4 回）
- ・スポーツ推進委員スキルアップ研修会を始め、ニュースポーツや健康・体力づくり運動等の普及活動を行う。
- ・市民体力測定会やスポーツ・レクリエーションに関する出前講座など、地域と連携した事業を開催する。



市民体力測定会



出前講座

[充]○レルヒ少佐顕彰会及び日本スキー発祥 110 周年記念事業 605

【目的】

当市が日本スキー発祥の地であることを市民が認識し、この地に対する誇りと愛着を深めるとともに、広く市内外に発信する。

【2 年度目標】

令和 3 年 1 月 12 日に、日本スキー発祥 110 周年を迎えることを踏まえ、レルヒ少佐の活動の功績を顕彰するとともに、当市が日本スキー発祥の地であることを P R する。

【実施内容】

- ・レルヒ少佐顕彰会を開催する。
- ・日本スキー発祥にまつわる講演会及び発表会を開催する。
- ・当市におけるスキーの歴史・産業や文化などを紹介するパネルやスキー板の変遷などの展示を行う。

○スポーツボランティア登録制度 54

【目的】

市民にスポーツイベントの運営補助や実技指導の補助等に参加する機会を提供し、スポーツ活動に対する意識を高めるとともに、スポーツ推進の担い手を育成する。

【2 年度目標】

スポーツボランティア参加延べ人数：100 人
 （平成 29 年度：66 人、平成 30 年度：80 人、令和元年度見込み：97 人）

【実施内容】

米山山麓ロードレース、高田城ロードレース大会、やすづかスポーツ大会、吉川区体育祭、えちご・くびき野 100 km マラソン、名立区駅伝競走大会、ファミリー綱引大会などにボランティアとして参加する。

○地域おこし協力隊制度を活用した体操指導者の配置 9,900

【目的】

「体操のまち上越」として、選手の競技力向上、市民の健康増進、大会や合宿等の誘致による人的交流の促進を図り、地域の活性化につなげる。

【2年度目標】

地元体操選手の育成及び競技力の向上、体操を通じた市民の健康増進を推進する。

【実施内容】

- ・地元体操クラブに体操推進に係る地域おこし協力隊員の雇用や活動支援等の業務を委託し、当該クラブが業務遂行のために体操競技の指導者（1人）及び新体操の指導者（1人）を雇用する。
- ・当該指導者を地域おこし協力隊員として市で委嘱し、地元体操クラブに所属しながら、活動に従事する。

○その他 7,293

会計年度任用職員報酬・共済費等

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
地域スポーツクラブ育成事業	4,912	4,973	△61

主な財源		主な経費	
県支出金	300	報償費	4,611
一般財源	4,612	旅費	6
		需用費	7
		役務費	181
		使用料及び賃借料	7
		負担金補助及び交付金	100

○スポーツ活動サポート事業 4,761

【目的】

小学校の課外活動や中学校の部活動において、専門的な技術指導を必要とする場合に外部指導者を派遣し、競技力の向上及び地域社会と連携したスポーツ活動を推進する。

【2年度目標】

小中学校の希望する種目に対応できるよう外部指導者の派遣を調整し、各学校のスポーツ活動等を支援する。

- ・小中学校への指導者派遣回数 延べ1,527回
(平成29年度：1,230回、平成30年度：1,532回、令和元年度見込み：1,503回)

【実施内容】

小中学校の希望を踏まえ、指導者を派遣する。

- ・小学校41校 435回
(合併前上越市25校、頸城区及び三和区の各3校、板倉区の2校、浦川原区、大島区、牧区、柿崎区、大潟区、吉川区、中郷区及び清里区の各1校)
- ・中学校18校 1,092回
(合併前上越市7校、安塚区、浦川原区、大島区、柿崎区、頸城区、吉川区、中郷区、板倉区、清里区、三和区及び名立区の各1校)

○総合型地域スポーツクラブの育成 151

【目的】

地域に根差したスポーツ活動を推進するため、地域住民が主体となって生涯スポーツを実践する総合型地域スポーツクラブの活動を支援する。

【2年度目標】

市内の総合型地域スポーツクラブと連携し、地域スポーツ活動を推進する。

【実施内容】

- ・総合型地域スポーツクラブのスポーツ指導者の指導力の向上を図るとともに、クラブ間の情報共有や連携を促すため、研修会を開催する。
- ・平成31年4月に設立された中郷区さとまるスポーツクラブに活動支援補助金を交付する。
- ・総合型地域スポーツクラブがなく、スポーツに親しむ機会が乏しい地域において、スポーツ教室を開催し、スポーツ環境の素地づくりを進めるとともに、地域でのスポーツ活動を担う人材・団体の育成につなげる。

(設立状況及び会員数)

No.	地区名	名 称	設立年度	会員数
1	合 併 前 上 越 市	TMTクラブきたすわ	平成 14 年度	1,563 人
2		総合型地域スポーツクラブ高士体育協会	平成 14 年度	1,400 人
3		津有北部地区スポーツクラブ	平成 17 年度	3,021 人
4	安 塚 区	やすづかスポーツクラブ	平成 16 年度	66 人
5	浦川原区	NPO法人うらがわらスポーツクラブ	平成 16 年度	171 人
6	柿 崎 区	かきざきスポーツクラブ	平成 17 年度	305 人
7	大 潟 区	NPO法人おおがたスポーツクラブ	平成 19 年度	305 人
8	頸 城 区	NPO法人ユートピアくびきスポーツクラブ	平成 15 年度	1,069 人
9	板 倉 区	いたくらスポーツクラブ	平成 16 年度	138 人
10	三 和 区	NPO法人さんわスポーツクラブ	平成 17 年度	290 人
11	名 立 区	総合型地域スポーツクラブ名立体育協会	平成 21 年度	51 人
12	中 郷 区	さとまるスポーツクラブ	令和元年度	3,638 人
合 計				12,017 人

※会員数は、令和2年1月1日現在

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
少年スポーツ活動育成事業	5,312	5,616	△304

主な財源		主な経費	
県支出金	324	報償費	91
財産収入	33	旅費	193
一般財源	4,955	需用費	9
		使用料及び賃借料	59
		負担金補助及び交付金	
			4,960

○少年スポーツ育成事業や育成団体への補助 5,023

【目的】

スポーツを通じて積極的に体を動かす習慣や基礎的な体力を身に付けるとともに、各種目における競技力の向上を目指し、青少年の健全な発達と育成を図る。

【2年度目標】

小・中・高校を通じて、各種団体のスポーツ活動を継続するための支援を行う。

【実施内容】

各種団体等の活動を支援するため、補助金の交付などを行う。

事業名	予算額
上越市スポーツ少年団補助金	218
ジュニアトップアスリート育成強化事業補助金	2,448
地域ジュニア競技スポーツクラブ育成事業補助金（県補助事業）	600
上越市スポーツ協会ジュニアスポーツクラブ補助金	1,527
居多まつり武道大会補助金	167
上田市交流事業「野球の日」野球大会出場事業	63
合計	5,023

○日本体育大学との連携事業 289

【目的】

日本体育大学との協定に基づき、ジュニア選手の育成・強化など、スポーツ振興に向けた取組を推進する。

【2年度目標】

ジュニア選手の競技力及び指導者の技術の向上を図る。

【実施内容】

各競技の専門指導者を招へいし、ジュニアトップアスリート育成強化事業の対象種目の選手に対する実技指導及び指導者クリニックを行う。

- ・陸上競技…中距離走・ハードル・幅跳び・高跳び4種類の練習方法及び指導方法
- ・バレーボール…基本技術及び指導方法

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
一般スポーツ活動推進事業	39,042	30,624	8,418

主な財源		主な経費	
財産収入	9,874	報酬	1,293
諸収入	165	共済費	223
一般財源	29,003	報償費	4,658
		役務費	75
		負担金補助及び交付金	
			32,594

○各種補助事業等 34,278

【目的】

市民一人一人が明るく健やかな生活が送れるよう、スポーツに親しむ機会を提供し、健康維持と体力増進を図る。

【2年度目標】

各種スポーツ教室や大会等を開催し、市民がスポーツに親しむ機会を提供する。

- ・スポーツ教室や大会等への市民参加率 100%以上（延べ参加者数／人口）
（平成 29 年度：98.8%、平成 30 年度：110.2%、令和元年度見込み：110.1%）

選手強化事業を行う各種スポーツ団体の活動を支援し、競技力の向上を図る。

- ・国体出場選手 30 人以上
（平成 29 年度：31 人、平成 30 年度：36 人、令和元年度見込み：19 人）

【実施内容】

- ・各種団体等の活動を支援するため、次の補助金等を交付する。

補助金等	予算額
新潟県駅伝競走大会補助金	481
ビーチラグビー大会補助金	640
レルヒカップスキー大会補助金	425
上越市スポーツ指導者養成事業補助金	880
上越市スポーツアスリート育成強化事業補助金	2,100
高田城ロードレース大会補助金	4,023
上越市スポーツ協会運営費補助金	7,394
上越市民スポーツ祭補助金	786
ビーチバレーボール大会補助金	183
スポーツ施設借上等補助金	923
えちご・くびき野 100km マラソン大会交付金	8,398
やすづかスポーツ大会補助金	108
牧区体育祭補助金	138
米山山麓ロードレース大会交付金	1,200
大潟区体育祭補助金	206
くびき総合スポーツフェスタ補助金	560
吉川区体育祭補助金	175

スカイスポーツ大会交付金	550
中郷歩くスキーとクロスカントリースキー大会補助金	168
松ヶ峯トリムマラソン大会補助金	336
中郷区体育祭補助金	291
清里区体育祭補助金	196
清里区つなひき大会補助金	140
三和区スポーツ大会補助金	485
名立区駅伝競走大会補助金	207
名立区歩こまいか名立補助金	48
名立区不動山登山補助金	50
合 計	31,091



高田城ロードレース大会



レルヒカップスキー大会

- ・[新]全国高等学校総合体育大会 3,127

令和3年度に開催する全国高等学校総合体育大会（体操競技・弓道）に向け、上越市実行委員会を組織し、開催準備に取り組む。

- ・国民体育大会出場選手壮行会経費 60

○スポーツ振興奨励金 4,415

【目的】

全国大会及び国際大会等に出場する選手や団体に奨励金を交付し、市民のスポーツ活動の振興を図る。

【2年度目標】

青少年の競技力向上及び成人の生涯スポーツ活動の推進につなげる。

・交付件数	青少年：個人 198 件、団体 22 件
	成人：個人 44 件、団体 6 件
〔平成30年度	青少年：個人 163 件、団体 15 件
	成人：個人 63 件、団体 12 件
令和元年度見込み	青少年：個人 173 件、団体 14 件
	成人：個人 44 件、団体 5 件

【実施内容】

全国大会及び国際大会等へ出場する選手や団体に対して奨励金を交付する。

- ・全国大会：個人 10 千円、団体 50 千円
- ・国際大会：個人 30 千円、団体 150 千円

○ファミリー綱引大会 349

【目的】

市民の体力づくりに対する意識を高めるとともに、地域の協調と融和を図る。

【2 年度目標】

ファミリー綱引大会の開催を通じて市民の健康維持や体力づくりにつなげるほか、年代を超えた選手が参加することにより、地域の結束と交流をより一層強める。

- ・参加チーム数 40 以上
(平成 29 年度：38 チーム、平成 30 年度：39 チーム、令和元年度：36 チーム)

【実施内容】

町内、小学校区又は各区単位でチームを募集し、11 月に上越市ファミリー綱引大会を開催する。
上越市ファミリー綱引大会



単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
学校体育施設開放事業	7,243	6,801	442

主な財源		主な経費	
使用料及び手数料	3,180	報酬	341
一般財源	4,063	報償費	3,349
		需用費	2,955
		役務費	152
		使用料及び賃借料	130
		備品購入費	296

【目的】

小・中学校の体育施設を活用し、青少年の健全育成及び地域スポーツ等の活動を支援する。

【2年度目標】

体育施設の適切な維持管理に努め、安全で快適なスポーツ環境を維持する。

【実施内容】

小・中学校の体育施設を学校教育に支障のない範囲で市民に開放する。

項目 施設名	学校数 又は学校名	利用時間等	主な利用内容
体育館	小学校 50校 中学校 22校 合計 72校	・月～金… 19:00～21:00 ・土曜日… 9:00～21:00 ・日祝日… 9:00～17:00 ※学校の意向により異なる 場合あり	バレーボール、バスケットボール、バドミントン、フットサル、卓球、ダンス、剣道、空手道等
グラウンド	小学校 48校 中学校 11校 合計 59校	・月～金… 5:00～7:00 17:00～日没 ・土日祝日…5:00～日没 ※学校の意向により異なる 場合あり	野球、サッカー等
テニスコート	大潟町中学校	・土日祝日…8:30～日没	テニス、ソフトテニス
プール	大島小学校	・夏休み期間…9:30～15:30	水泳

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
体育施設整備事業	193,892	1,861,601	△1,667,709

主な財源		主な経費	
国庫支出金	29,458	一般財源	89,996
諸収入	238	委託料	28,061
市債	74,200	工事請負費	165,831

【目的】

市民の健康増進、スポーツ活動の普及促進及び競技力の向上を図るため、安全かつ快適なスポーツ環境を整備する。

【2年度目標】

上越市総合体育館等大規模改修工事の設計に着手するほか、高田城址公園陸上競技場や中郷総合体育館など、各種体育施設の機能維持及び安全性の確保を図る。

※「高田公園」は、令和2年4月1日に「高田城址公園」に名称を変更

【実施内容】

- ・上越市総合体育館等大規模改修工事設計業務委託 27,368
施設の長寿命化を図るため、大規模改修工事の設計を行う。
- ・高田城址公園陸上競技場第2種公認検定更新工事 35,541
第2種陸上競技場の公認検定の更新に向けて、ルール改正への対応やトラックの部分補修を行う。
- ・上越総合運動公園土地利用調査業務委託 693
新野球場の整備の可能性を精査するため、運動公園の未整備区域における土地利用調査を行う。
- ・浦川原体育館西側外壁全面張替工事 47,850
劣化が著しい西側外壁（約405㎡）の全面張替を行う。
- ・大潟体育センター外壁改修工事 3,245
経年劣化により破損が著しい一部外壁の補修を行う。
- ・中郷総合体育館駐車場改修工事 29,458
経年劣化した舗装面（約3,287㎡）の修繕を行う。
- ・板倉農業者トレーニングセンター体育室床面塗装工事 3,359
経年劣化した体育室の床全面（約774㎡）の補修及び塗装を行う。 など

※上越市立上越体操場「ジムリーナ」（令和2年1月26日オープン）

1 建物の概要

- ・構造 地上2階建、鉄骨造
- ・建築面積 2,896.84㎡
- ・延床面積 3,812.00㎡（体操場1,680㎡、多目的室220㎡、会議室150㎡ほか）
- ・建物高さ 22.28m（天井高 体操場14m、多目的室・会議室3.5m）
- ・駐車場 160台（うち障害者等用4台）

2 総事業費

項目	金額
本体工事費	16.0 億円
設計費等	0.8 億円
用地購入費	1.6 億円
備品購入費	2.2 億円
その他	0.9 億円
合計	21.5 億円

(内訳) 建築工事 11.8 億円
 電気設備工事 1.6 億円
 機械設備工事 2.6 億円

(財源)

合併特例債	17.9 億円
新潟県地域づくり資金	0.9 億円
一般財源等	2.7 億円
合計	21.5 億円

3 完成写真等



外観



オープン式典



記念イベント

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
体育施設管理運営費	269,023	255,273	13,750

主な財源		主な経費	
使用料及び手数料	23,116	報酬	5,905
財産収入	956	報償費	3,940
諸収入	3,098	需用費	59,218
一般財源	241,853	委託料	181,670
		使用料及び賃借料	9,879
		備品購入費	5,038

【目的】

市民の健康増進、スポーツ活動の普及促進及び競技力の向上を図るため、安全かつ快適なスポーツ環境を提供する。

【実施内容】

・所管施設数

施設区分	施設数
体育館	20
野球場	10
テニスコート	8
多目的広場	12
プール	5
ゲートボール場	3
その他	12
合計	70

※オールシーズンプールは、予算科目 10 款 6 項 5 目に計上

・主な修繕工事

区分	項目	予算額
合併前上越市	スポーツ公園野球場本部席屋根塗装修繕工事	770
	上越総合運動公園テニスコート浄化槽修繕工事	713
安塚区	安塚B&G海洋センタープール上屋シート窓取替工事	198
牧区	牧プール管理棟更衣室出入口枠修繕工事	209
柿崎区	柿崎屋内水泳プールろ過装置操作弁修繕工事	379
大潟区	大潟体育センター男子トイレタイル修繕工事	380
吉川区	吉川体育館アリーナ照明修繕工事	297
中郷区	中郷総合運動公園外灯電源配線改修工事	200
板倉区	板倉北部スポーツセンター床部分張替修繕工事	275
三和区	三和西部スポーツハウス防球ネット取替修繕工事	239

・主な業務委託

区 分	項 目	予算額
合併前上越市	指定管理業務委託（高田城址公園野球場等 19 施設）	54,007
	ビーチバレーコート整地等業務委託	2,970
安塚区	安塚B & G海洋センター管理業務委託	2,477
浦川原区	浦川原体育館等施設管理業務委託	4,521
	浦川原プール監視等業務委託	2,576
牧区	牧体育館管理業務委託	1,626
柿崎区	指定管理業務委託（柿崎総合運動公園野球場等 5 施設）	44,500
大潟区	大潟体育センター管理業務委託料	3,729
中郷区	中郷総合体育館等受付・維持管理業務委託	4,253
清里区	清里スポーツセンター等管理業務委託	5,878
三和区	三和体育館等管理業務委託	6,529

※「高田公園」は、令和2年4月1日に「高田城址公園」に名称を変更

・指定管理者による管理

（高田城址公園野球場等 19 施設）

団 体 名	一般財団法人 上越市スポーツ協会
所 在 地	上越市木田1丁目17番33号
指定期間	平成31年4月1日から令和6年3月31日まで（5年間）
自主事業	<ul style="list-style-type: none"> ・各種教室 園児向け運動教室、体づくり運動教室、女性のためのフィットネス教室、リズムに合わせて健康体操教室、ストレッチ・ヨガ教室、ランニング教室など ・各種行事等 各種大会、上越市市民体育祭など

（柿崎総合運動公園野球場等 5 施設）

団 体 名	新東産業 株式会社
所 在 地	東京都渋谷区渋谷2丁目12番19号
指定期間	平成31年4月1日から令和6年3月31日まで（5年間）
自主事業	<ul style="list-style-type: none"> ・各種教室 いきいき健康体操&ストレッチ教室、さわやかフィットネス教室、男性のための体操教室、トランポピクス教室、初心者ジョギング教室、キッズ体操教室など ・各種行事等 かきざきドームフェスティバル、スポレック大会、卓球大会など

・体操施設の管理

(施設の概要)

・上越市立上越体操場「ジムリーナ」

構造等	鉄骨造 2 階建て 延床面積 3,812 m ²	
機能	1 階	体操場、器具庫、事務室、医務室、ホール、ロビー、男女トイレ、男女更衣室、男女シャワー室、多目的トイレなど
	2 階	多目的室、会議室、ランニングコース、観客席、男女トイレ、多目的トイレ ほか

・上越市立大潟体操アリーナ

構造等	鉄骨造 2 階建て 延床面積 1,571 m ²	
機能	1 階	体操場、男女トイレ、男女更衣室、多目的トイレなど
	2 階	健康トレーニングコーナー ほか

(管理体制)

市直営 (施設の管理運営業務を委託)

(入館者数の目標)

年間延べ 60,000 人 (上越体操場 42,000 人、大潟体操アリーナ 18,000 人)

(予算額)

区分	上越体操場	大潟体操アリーナ	備考
報償費	3,105	—	市主催教室等講師謝金ほか
旅費	224	—	市主催教室等講師費用弁償
	43	—	大会、合宿等利用促進活動
需用費	136	—	施設管理用消耗品ほか
	—	880	暖房用灯油代
	11,828	2,795	電気料金
	586	—	ガス料金
	413	68	水道料金
	—	2,061	器具、一般修繕料
役務費	179	33	電話、ファックス、Wi-Fi 使用料
	265	—	市主催教室参加者保険料
委託料	18,584	5,808	施設管理、各種保守点検業務ほか
	1,217	—	施設利用学習用バス運行業務
使用料及び 賃借料	424	—	複写機借上料、コピー料金
	290	364	AED、監視カメラ等借上料
	103	62	下水道使用料
	22	—	テレビ受信料
合計	37,419	12,071	

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
オールシーズンプール管理運営費	27,548	27,521	27

主な財源		主な経費	
一般財源	27,548	需用費	2,315
		委託料	25,233

【目的】

市民の健康増進、水泳の普及促進及び競技力の向上を図るため、安全かつ快適なスポーツ環境を提供する。

【実施内容】

・維持管理費

区分	項目	予算額
需用費	プールヒーター送水管弁取替修繕工事	1,309
	その他一般修繕工事	1,006
委託料	指定管理業務委託	25,060
	防火設備点検業務委託	173
合計		27,548

・指定管理者による管理

団体名	株式会社 新潟ビルサービス
所在地	新潟市中央区上大川前通9番町1268番地2
指定期間	平成31年4月1日から令和6年3月31日まで（5年間）
自主事業	<ul style="list-style-type: none"> ・各種水泳教室 年少児1日体験スクール、資格テスト、水中運動、ゆったりスイム、アクアビクスなど ・各種行事等 上越市立オールシーズンプール水泳競技大会、親子水遊び体験会、わんぱく水遊び天国、新春初泳ぎレクリエーション、各種大会に向けての総合練習など

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
東京オリンピック・パラリンピックホストタウン推進事業	72,621	34,243	38,378

主な財源		主な経費	
県支出金	1,000	報酬	6,866
寄附金	1	委託料	49,956
諸収入	864	報償費	1,675
		需用費	1,644
		使用料及び賃借料	7,296
		負担金補助及び交付金	2,440

【目的】

東京 2020 オリンピック・パラリンピックの直前合宿や聖火リレー、交流事業などを実施することで、スポーツ交流人口の拡大や市民の競技力の向上を図るとともに、市民がオリンピック・パラリンピックという世紀の祭典を身近なものとして感じ、スポーツをきっかけとした健康な心身の醸成を図る。

【2年度目標】

- ・ドイツ体操チームが万全の状態で開催に臨めるよう、ドイツ体操連盟と協議を進めながら受入体制を整え、直前合宿を実施するとともに、ホストタウンを契機とした大会後の交流として、ドイツジュニア柔道チームの合宿受入れを行う。
- ・東京 2020 オリンピック聖火リレーやパラリンピック聖火フェスティバルなど東京 2020 大会に関連する各種の取組を通じて、多くの市民が参画する機会を作るとともに大会全体の盛り上げに寄与する。
- ・ドイツに関連したイベントの開催や周知活動などを通じ、ドイツに対する市民の理解や親近感を更に深める。

【実施内容】

[充](1) ドイツ体操チームの直前合宿受入れ及び視察 38,661

ドイツ体操連盟による直前合宿に向けた練習会場等の視察を 4 月に受け入れるとともに、東京 2020 オリンピック前の 7 月に直前合宿の受入れを行う。

- ・受入時期：令和 2 年 7 月
- ・受入種目：体操競技、トランポリン、新体操
- ・受入人数：延べ 60 人

[充](2) ドイツジュニア柔道チームの合宿受入れ 8,170

パラリンピック柔道チームの事前合宿の受入れを契機としたドイツとのスポーツ交流を継続させるため、平成 30 年度に引き続き、ドイツジュニア柔道チームの合宿受入れを行う。

- ・受入時期：令和 2 年 11 月
- ・受入人数：24 人

[新](3) 東京 2020 オリンピック聖火リレーの実施 9,938

東京 2020 オリンピック聖火リレーが上越市を走行することから、聖火リレーの運営を行うとともに、子どもたちを始めとする市民が参画する市独自のイベントを実施する。

- ・聖火リレー通過日：令和 2 年 6 月 5 日
- ・聖火リレールート：春日小学校前～謙信公大通り～リージョンプラザ上越

[新](4) 東京 2020 パラリンピック聖火フェスティバルの実施 461

東京 2020 パラリンピックにおいて、新潟県の聖火フェスティバルの一環として、当市においても「上越市の火」を採火するセレモニーを開催するとともに、市内各地で火の展示等を実施する。

・実施期間：令和 2 年 8 月 13 日～17 日

[充](5) 東京 2020 オリンピック・パラリンピック関連イベント及び周知活動の実施 4,583

競技のパブリックビューイング、市民応援ツアー、市内イベントにおけるパラスポーツ体験会及びPRブースの出展等を行うとともに、PR用の懸垂幕や写真パネル等を作成し、広く市民に周知する。また、東京 2020 オリンピック・パラリンピックに出場する上越市出身選手を応援するため、壮行会や報告会を開催する。

[充](6) 上越市ホストタウンサポーターの運営 527

事前合宿やホストタウン推進事業の運営をサポートする市民ボランティア「上越市ホストタウンサポーター」の研修会を開催するとともに、活動に参加するサポーターを支援する。

[充](7) 国際交流員の任用及びドイツ文化を知る交流事業の実施 4,988

ドイツ文化の情報発信のほか、合宿受入時の選手のサポート業務を担うドイツ人国際交流員を引き続き任用し、学校訪問やドイツ文化を紹介するイベントも開催する。

[充](8) その他 5,293

大使館や競技団体と連携し、事前合宿の実施に向けた情報収集等を行う。また、ホストタウン推進事業に従事する国際交流推進員等の会計年度任用職員を任用する。

(参考)

東京 2020 オリンピック・パラリンピック開催日程

・東京 2020 オリンピック（令和 2 年 7 月 24 日～8 月 9 日）

体操競技 7 月 25 日～30 日・8 月 2 日～4 日

トランポリン 7 月 31 日～8 月 1 日

新体操 8 月 7 日～9 日

・東京 2020 パラリンピック（令和 2 年 8 月 25 日～9 月 6 日）

柔道 8 月 28 日～30 日



ドイツパラリンピック柔道チームの
事前合宿に関する覚書締結式



世界トランポリン競技選手権大会で
ドイツチームを応援

上越市立上越体操場「ジムリーナ」のオープンについて（報告）

1. オープン記念式典・イベント

- (1) 日 時
1月26日（日）午後1時から午後3時40分まで
- (2) 来場者数
約900人（来賓、一般来場者、ジュニア選手・指導者など）
- (3) プログラム

13:00～13:30	記念式典	
	式辞	市長
	挨拶	市議会議長
	祝辞	高鳥衆議院議員、花角新潟県知事、二木日本体操協会会長
	寄贈品紹介	大潟ライオンズクラブ、上越ライオンズクラブ等
	愛称紹介	
	喜びの言葉	百目鬼さん（関根高2年）、西條さん（大潟中2年）
13:30～13:40	テープカット	市長を含む関係者8人
14:00～15:40	記念イベント （演技披露）	①男子新体操 [団体]長縄演技（国士舘大学）
		②女子体操競技[個人]段違い平行棒（日本体育大学）
		③ " [個人]跳馬、平均台（ポルトガル）
		④ " [個人]ゆか（日本体育大学）
		⑤女子新体操 [個人・団体]ボール、クラブ、フープ（日本女子体育大学）
		⑥男子新体操 [個人]クラブ、ロープ（国士舘大学）
		⑦男子体操競技[個人]ゆか（市立船橋高等学校）
		⑧ " [個人]跳馬、平行棒、鉄棒、つり輪、ゆか（コナミスポーツ）
		⑨女子新体操 [個人・団体]フープ、リボン、クラブ（日本女子体育大学）
		⑩男子新体操 [団体]集団・団体演技（国士舘大学）
		⑪女子トランポリン[個人]（金沢学院大学クラブ）
		⑫フィナーレ（全選手による演技）

(4) 出演者・来場者の声

○出演者

- ・ 日本体育大学：施設は、やりやすく素敵です。練習するには、大変広くよかったです。床のスポンジがやわらかくてよかったです。
- ・ 金沢学院大学クラブ：全体的にとってもよい施設。競技をするにはちょうどいい照明。
- ・ 日本女子体育大学：音響設備が良く、競技がしやすい。

○来場者

- ・ 2階席だったが、思ったよりも近くから見ることができ、演技の迫力を感じた。（30代・市内・女性）
- ・ 男子の新体操は見る機会がないので見られて良かった。体操専用の施設はなかなか無いので、良い施設だと思う。（30代・市外・男性）
- ・ オリンピック選手の演技が間近で見られてとても良かった。（50代・市内・男性）

2. 市民向け無料体験会

(1) トライアルデー

- 開催日 2月1日（土）、2日（日）
※3月1日（日）実施予定のトライアルデーは延期（実施時期未定）
- 内容 タンブリング体験、トランポリン体験、スラックライン体験、ノルディックウォーキング体験、ジュニア用ソフト器具体験、運動機能測定など
- 参加者数 1,471人（2/1：598人、2/2：873人）
- 参加者の声
 - ・ 家族で参加した。こういう機会はめったにないので、1日参加させてもらった。また、こういうイベントをやってほしい。（40代・女性）
 - ・ 初めて体験したが、スタッフの人に支えてもらいながら、楽しく体験することができた。体の動かし方も丁寧に教えてもらったので、またやってみたい。（80代・女性）
 - ・ トランポリンが高く飛べて楽しかった。来月もまた来たい。（10代・女性）

(2) トライアルイベント（順次開催中）

- 開催日 1月下旬～3月下旬 ※教室ごとに複数回
- 内容 親子運動教室、キッズチアリーディング教室、ストレッチ教室、スローエアロビック教室、トランポリン教室、ノルディックウォーキング教室など

3. 整備の経過及び事業費

(1) 経過

平成26年度	市教育委員会で整備検討開始
平成27・28年度	基本設計
平成29年度	実施設計
平成30年度	工事着手
令和元年度	工事竣工（11月末） 供用開始（令和2年1月26日）

(2) 総事業費

・ 本体工事費	16.0億円	※ 建築工事費	11.8億円
		電気設備工事費	1.6億円
		機械設備工事費	2.6億円

・ 設計費等	0.8億円
・ 用地購入費	1.6億円
・ 備品購入費	2.2億円
・ その他	0.9億円

合 計	21.5億円
------------	---------------

[財源]

・ 合併特例債	17.9億円
・ 新潟県地域づくり資金	0.9億円
・ 一般財源等	2.7億円

1 ドイツトランポリンチームの合宿受入れ及び世界選手権大会への応援団派遣結果について

○ドイツトランポリンチームの合宿受入れについて

- (1) 合宿期間 令和元年11月19日(火)から25日(月)(6泊7日)
- (2) 受入人数 10人(チーム代表者1人、選手5人、コーチ2人、医師1人、理学療法士1人)
- (3) 合宿内容

リージョンプラザ上越インドアスタジアムにおいて、トランポリン4台を使用し、1日に2セッション(計5時間半程度)、世界選手権大会で実施する演技の調整を行った。

(4) 交流事業

小学生や地元商店街、ホストタウンサポーター、練習見学者との交流事業を通じて、約1,000人の市民とドイツチームとの幅広い交流を行った。

(5) ドイツチームの感想

- ・世界選手権大会に向けて完璧な練習環境を整えていただき、時差の調整や演技の確認を行うことができた。
- ・市民の皆さんからこれまでの合宿などでは受けたことのない温かい歓迎を受け感動した。市民の皆さんにトランポリンを見て実際に体験してもらえたことは貴重な経験であり、ドイツチームにとっても演技を見てもらうことで選手たちの刺激になった。



▲小学生による応援セレモニー



▲トランポリン体験

○世界選手権大会への応援団派遣について

(1) 概要

ドイツトランポリンチームが出場した「第34回世界トランポリン競技選手権大会」(会場：有明体操競技場)に上越市から応援団を派遣し、選手たちと面会するなどの交流を行った。

- ①令和元年11月28日(木) 男女個人予選
 - ・参加者：市関係者、体操関係者 計6人
- ②令和元年11月30日(土) 男女個人準決勝
 - ・参加者：トランポリンジュニア選手を含む体操関係者、市関係者 計17人

(2) 競技結果

男女ともに、東京オリンピック出場権が獲得できる決勝には進出できなかった。今後のワールドカップのランキング等による出場権の獲得を目指す。

(3) 体操ジュニア選手の感想

- ・世界トップレベルの演技を間近に見ることができて、自分の演技への刺激になった。
- ・演技を終えたばかりのドイツ選手は残念そうだったが、気さくに笑顔でサインや握手をしてくれて嬉しかった。私も競技を頑張りたいと思った。



▲観客席からドイツチームを応援



▲競技終了後に子どもたちと交流

2 ドイツパラリンピック柔道チームの合宿受入れについて

- (1) 合宿期間 令和2年2月26日(水)から3月5日(木)(8泊9日)
- (2) 受入人数 12人(ドイツ柔道連盟役員1人、選手8人、コーチ2人、理学療法士1人)
- (3) 合宿内容

- ・練習相手 新潟県警、北陸大学、上越市柔道連盟など 計3団体、46人
- ・練習内容 謙信公武道館を会場に、午前10時から12時まで、午後4時から6時までの1日2回、計4時間程度、乱取り等の練習を行った。

※合宿の実施に当たり、新型コロナウイルスを始めとする感染症予防対策を実施した。

- ・合宿参加者に健康観察の徹底を依頼し、風邪のような症状のある方は参加を控える。
- ・「手洗い」、「マスク着用を含む咳エチケット」の徹底し、会場の出入口にアルコール消毒液を設置。

(4) 交流事業

当合宿では、新型コロナウイルス等の感染拡大防止のため、練習の見学のほかジュニア柔道選手、地元小中学校、ホストタウンサポーター等との交流を中止とした。

(5) ドイツチームの感想

- ・3回目の合宿であり、練習、宿泊などの合宿環境が十分に準備され、完璧な受入態勢を整えていただいた。新しい武道館は、世界各地の武道場と比べても非常に素晴らしい施設である。照明も明るく、視覚障害者にとっても使用しやすい施設である。
- ・新型コロナウイルスの影響でこれまでの合宿に比べ練習相手の人数が少なかったが、日本の柔道家と練習できることは我々にとって貴重なことである。
- ・交流事業が中止となり小中学生が残念に思っていると聞いたが、私たちも非常に残念だ。たくさんのメッセージが書かれている横断幕などのプレゼントはドイツに帰っても大切にしたい。



▲練習相手との乱取り



▲ホストタウンサポーターによる給水



▲小学生から贈られた横断幕と千羽鶴



▲小学生のビデオメッセージを鑑賞

3 上越市ホストタウンサポーターの登録状況について

- (1) 登録状況 計116人(内訳：市内89人、県内8人、県外19人) ※3月6日現在
- (2) 活動実績

・ドイツトランポリンチーム合宿サポート隊	：参加者8人	} 中止
・ドイツパラ柔道チーム合宿サポート隊	：参加者20人	
・ドイツパラ柔道チームお出迎え隊	：参加予定者11人	
・ドイツパラ柔道チームとの交流会運営隊	：参加予定者17人	
・ドイツパラ柔道チームを料理でおもてなし隊	：参加予定者11人	

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に向けた市の対応状況（主なもの）

【2月26日】

- 国から新型コロナウイルスに関して基本方針が示されたこと、また、隣県における感染事例が確認されたことから、新型コロナウイルス感染症警戒本部を設置
- 新型コロナウイルス感染症に関するイベント実施の判断基準を決定

【2月28日】

- 国からの小・中・高・特別支援学校等の一斉休業の要請を受け、3/4から春休みまでの間、市立幼稚園、小・中学校の臨時休業を決定
- 学校体育施設開放事業について、3/4から春休みまでの間、小・中学校の体育施設（体育館、グラウンド等）の利用休止を決定
- 上記を踏まえ、各スポーツ関係団体に対し、小・中・高校生のスポーツ活動（日常的な練習を含む）の自粛を要請
- 3/4から春休みまでの間、市内児童施設等（オーレンプラザこどもセンター等）の閉鎖を決定
- 2/29以降の市主催又は共催イベントの中止又は延期を決定（※イベントに関しては、これ以降も、随時、延期又は中止を決定）

【2月29日】

- 県内で新型コロナウイルスの感染者が確認されたことから、「新型コロナウイルス感染症警戒本部」から「新型コロナウイルス感染症対策本部」へ移行

【3月2日】

- 小学校の臨時休業を受け、3/4から3/21までの間の放課後児童クラブの特別開設を決定
- 新型コロナウイルス感染症予防を理由として施設利用を取り消す場合の措置として、2/20から4/30まで使用料を全額還付することを決定

【3月3日】

- 3/4から3/24まで間、小・中・高校生の市内の公共施設の利用の自粛を決定